

### 1 主屋土間西側の発掘調査

土台取替に伴い布石列を撤去したので、調査できなかった土台下部分を発掘し、土間内外を関連づけて検討することが可能となった。このため短期間だが市教委の埋文担当者に来て頂き、発掘調査を行った。

布石下には石垣積基礎が検出された。このような基礎は大広間にもあったが、土間部は化粧でも良いぐらいの仕上である。なおこの石垣下部の土層観察では、前身主屋の土間面を確認することは出来なかった。



### 2 主屋土間部土台の取付

西側土台は腐朽・風化が激しく、ほとんどの部材を取り替えることとなった。今月中旬には取替材の加工が終わったので、土台の取り付けを始めた。建物を仮支えしたままでの作業であるので、作業性は悪かったが、計画通り下からすくい込むようにして、土台を取り付けることが出来た。写真はその作業中の状況。写真では土台を継ぐため横に倒している。



### 3 主屋西側土台取付完了

南西より見た土台の取付完了の状況。続いて布石を土台下に取り付けていく。



#### 4 主屋井戸屋形桁の取付

昨月に引き続き井戸屋形部の修理も進めている。土間・井戸屋形境の桁は蟻害が激しく、取り替えざるをえなかった。取替材の加工が終わり、外した時と逆の順に、桁を大梁に向かって下から取り付けた。つぎに下部へ落としていた桁を受ける柱列（差鴨居と小壁が付いたまま）を、慎重に桁に向けて引き上げた。写真はその状況。取り付けは順調に終わった。



#### 5 主屋井戸屋形部の曳家

先月に、井戸屋形部分を本屋より切り離し、60cm北へ曳家している。前述の井戸屋形・土間境桁の取付が終わり、井戸屋形部分の土台取付が完了したので、井戸屋形部分をまたもとの位置に曳家した。レバーブロックとジャッキを併用して、土台下にコロを入れて歪みの出ないように注意しながら、ゆっくりと移動させた。写真はその状況。



#### 6 主屋井戸屋形据付完了

井戸屋形を曳家して所定の位置に据え付けた状況。計画通り順調に進み、土壁の多くを解体することなしに、土台や桁を取り替えることが出来た。

来月の木工事は、土間台所部の屋根まわりにかかっていく。

